

34) 寺田員人, 原田史子, 山添清文, 花田晃治: 歯科矯正治療による顔の印象の変化, 電子情報通信学会・ヒューマンコミュニケーション基礎, 岐阜, 1999年9月4日. 電子情報通信学会技術研究報告 HCS99-30, 41-47, 1999.

35) 小栗由充, 山田一尋, 福井忠雄, 細貝暁子, 荒井良明, 河野正司: 偏位を伴う骨格性下顎前突症患者における下顎滑走運動の分析, 第58回日本矯正歯科学会大会, 広島, 1999年10月14, 15日.

36) 長谷川暁子, 森田修一, 布田花子, 花田晃治: 骨格性下顎前突症患者の上下顎移動術に伴う軟組織側貌の変化, 第58回日本矯正歯科学会大会, 広島, 1999年10月14, 15日.

37) Habiba, M.S., Yamada, K., Hanada, K., Tanda, K.: A study of changes in occlusal force and occlusal contact area after active orthodontic treatment, 第58回日本矯正歯科学会大会, 広島, 1999年10月14, 15日.

38) 小栗由充, 山田一尋, 花田晃治, 河野正司: 偏位を伴う骨格性下顎前突症患者における下顎滑走運動の分析, 平成11年度 新潟歯学会 第2回例会, 新潟, 1999年11月17日.

39) 新井 透, 石井一裕, 森田修一, 花田晃治, 小野和宏, 高木律男: 片側性唇顎口蓋裂児におけるHotz床併用2段階口蓋形成手術法が顎顔面成長に及ぼす影響について, 平成11年度 新潟歯学会 第2回例会, 新潟, 1999年11月17日.

40) 長沼一雄, 花田晃治: 無麻酔・無拘束ウサギにおける嚙下時の外舌筋活動について, 平成11年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 1999年11月17日.

41) 須田聡, 町田直樹, 百瀬学, 八巻正樹, 関康弘, 松岸潔, 櫻井克也, 森田修一, 吉江弘正, 花田晃治, 原耕二: 正常咬合及び外科的矯正手術後の患者における歯根膜反射の解析, 平成11年度 新潟歯学会 第2回例会, 新潟, 1999年11月17日.

42) 鈴木一郎, 山田一尋: TCP/IPネットワークによるリアルタイムオンデマンドビデオ, 第19回医療情報学連合大会, 横浜, 1999年11月27日.

【研究会発表】

1) 星 隆夫: ヘッドギアを用いた一期治療, 第21回与五沢矯正研究会, 神戸, 1999年4月20日.

【その他】

1) 平沼謙二, 加藤喜郎, 新海航一, 齋藤文明, 山本克之, 森田修一, 近藤悦子, 奈良陽一郎, 日野浦光, 桃井保子: 審美歯科治療に期待するもの, 歯科審美 11(2), 466-480, 1999. 12(1), 104-119, 1999.

2) 寺田員人: 国立科学博物館 特別展 大顔展, 実行

委員, 展示担当(美しい口もとをつくる, 咬合力測定コーナー), 国立科学博物館・日本顔学会・読売新聞主催, 国立科学博物館, 東京, 1999年7月31日-10月17日, 名古屋市科学博物館, 名古屋(名古屋巡回展), 1999年10月30日-2000年1月30日.

小児歯科学講座

【論文】

1) Tomizawa M., Kohno M., Noda T., Suzuki M.: Three cases of palatal polyps in infants, Int.J.Paediatr.Dent., 9:213-217,1999.

2) Tanaka Y., Ishikura Y., Tomizawa M., Noda T., Naito Y.: Radicular cyst associated with upper primary canine resulting in malposition of the permanent successor: Report of a case, Pediatric Dental J., 9:111-115,1999.

3) Yonemochi H., Noda T., Shimokawa H., Saku T.: Immunohistochemical localization of extraction matrix molecules in complex odontoma, Dentistry in Japan, 35:13-19, 1999.

4) Haishima H., Haishima K., Taguchi Y., Noda T.: Observation of nine-month-old infant's swallowing with digital fluorographic system X-ray TV system), Dentistry in Japan, 35:100-104,1999.

5) Maeda T., Ochi K., Nakakura-Ohshima K., Youn S.h., Wakisaka S.: The Ruffini ending as the primary mechanoreceptor in the periodontal ligament: Its morphology, cytochemical features, regeneration and development, Critical Reviews in Oral Biology and Medicine, 10:307-327,1999.

6) Kobayashi K., Taguchi Y., Noda T.: Eruption disturbances of maxillary permanent central incisors associated with anomalous adjacent permanent lateral incisors, Int.J.Paediatr.Dent., 9:277-284,1999.

7) Ida-Yonemochi H., Noda T., Ono Y., Saku T.: Xanthomatous lesion of the gingiva: A possible cause of delayed tooth eruption, Oral Med Pathol., 4:79-84,1999.

8) Hayashi S., Nakakura-Ohshima K., Ohshima H., Noda T., Wakisaka S., Maeda T.: The development of terminal Schwann cells associated with periodontal Ruffini endings in the rat incisor ligament, Brain Res., 858: 167-171,2000.

9) 田邊義浩, 神成直子, 田口 洋, 野田 忠: 乳歯列反対咬合児の側貌頭部エックス線規格写真を用いた形態的特徴の分析, 小児歯誌, 37:21-30,1999.

10) 河野美砂子, 野田 忠: 下顎第二乳臼歯の早期喪失時に応用したM型ループの臨床的評価, 小児歯誌, 37:595-604,1999.

- 11) 佐野富子, 富沢美恵子, 朔 敬: 13歳女兒にみられたニフェジピンによる歯肉増殖症の1例, 小児歯誌, 37:864-870,1999.
- 12) 渡邊淳一: ビスフォスホネートの投与により誘導される破歯細胞のアポトーシスに関する細胞化学的・微細構造学的研究, 新潟歯学会誌, 29:201-202,1999.
- 13) 富沢美恵子, 野田忠, 鈴木 誠: 小児の口腔線維性病変, 小児歯誌, 38:218-224, 2000.
- 14) 長坂信夫, 海原康孝, 岡田臨三, 粟根佐穂里, 野田 忠ほか: 幼若永久歯の総合的研究 - 萌出程度, 歯の異常, 歯列・咬合 -, 小児歯誌, 38:1-13,2000.
- 15) 長坂信夫, 岡田臨三, 海原康孝, 粟根佐穂里, 野田 忠ほか: 幼若永久歯の総合的研究 - 齲蝕状態, 処置内容 -, 小児歯誌, 38:14-29,2000.
- 16) 長坂信夫, 岡田臨三, 海原康孝, 粟根佐穂里, 野田 忠ほか: 幼若永久歯の総合的研究 - 歯垢付着状態, 歯肉状態 -, 小児歯誌, 38:30-46,2000.

【著書】

- 1) 龍島弘之: 摂食・嚥下障害, 摂食・嚥下にかかわる解剖・生理, 摂食・嚥下障害に対する評価法, 向井美恵他編: 摂食嚥下療法の診断, p.104-106,110-112, 医歯薬出版, 東京, 1999.

【商業誌】

- 1) 田口 洋: 咬合と咀嚼筋活動の生理学的研究 その1 切歯からの感覚信号による筋活動, 小児歯科臨床, 4(1):73-80,1999.
- 2) 田口 洋: 咬合と咀嚼筋活動の生理学的研究 その2 咬筋と側頭筋の機能的分化, 小児歯科臨床, 4(2):81-89,1999.
- 3) 三富智恵, 富沢美恵子: Hand-Schuller-Christian 病の歯科的所見, 小児歯科臨床, 4(5):91-96,1999.
- 4) 野田 忠: 外科的萌出誘導, Dental Diamond, 24(7):62-67,1999.
- 5) 野田 忠: リーウェイスペースを使った咬合誘導, 歯科医療, 13(2):58-66,1999.
- 6) 野田 忠: 幼児の歯ぎしりの原因と対策, Dental Diamond, 24(10):102-103,1999.
- 7) 野田 忠: 小児歯科の領域, 小児科の進歩, 19:156-157,1999.
- 8) 野田 忠, 小林博昭, 田口 洋, 富沢美恵子, 田邊義浩, 大島邦子, 松沢順子, 市嶋里絵: 「食べる」ことの意味~ 乳児から幼児の時代~, 歯医者さんの待合室, 3(1): 4-16, 2000.

【研究成果報告書】

- 1) 野田 忠: 嚥下機能発達の超音波画像解析システ

ムによる動態解析, 平成11年度文部省科学研究費研究報告書(基盤研究(B)課題番号10470445), 2000年.

- 2) 富沢美恵子: ニフェジピンによる増殖性歯肉炎の小児における発症機構に関する研究, 平成11年度文部省科学研究費(基盤研究(C)課題番号11672040), 2000年.
- 3) 大島邦子: 再植歯における歯髄・歯根膜の免疫応答及び再生過程: 免疫組織化学・微細構造学的検討, 平成11年度文部省科学研究費研究報告書(奨励研究(A)課題番号09771827), 2000年.
- 4) 田邊義浩: セメント芽細胞における破歯細胞の分化・誘導・活性因子の解明, 平成11年度文部省科学研究費研究報告書(奨励研究(A)課題番号11771312), 2000年.
- 5) 佐藤(松山)順子: PCR法を用いた細菌の同時検出法の開発 - 前思春期性歯周炎の原因解明にむけて -, 平成11年度文部省科学研究費研究報告書(奨励研究(A)課題番号10771175), 2000年.
- 6) 小林博昭: 顎運動の生後発達と閉口反射について, 平成11年度文部省科学研究費研究報告書(奨励研究(A)課題番号10771172), 2000年.

【学会発表】

- 1) Tanabe Y., Taguchi Y., Noda T.: Correlation between cephalometric variables and individual cranial base angle, 17th IAPD, 1999.9.2-4, London, Int.J.Paediatr.Dent., 9(supple):110,1999.
- 2) Tomizawa M., Ishikura Y., Noda T.: Bilateral fused primary teeth accompanied by succedaneous supernumerary teeth, 17th IAPD, 1999.9.2-4, London, Int.J.Paediatr. Dent., 9(supple):112,1999.
- 3) Hayashi S., Nakakura-Ohshima K., Shimizu A., Noda T., Maeda T.: Development of terminal Schwann cells associated with periodontal Ruffini endings, IFAA, 1999. 9.11-16, Rome, p.275
- 4) Shimomura J., Ishibashi O., Ikegame M., Noda T., Kawashima H., Tensile stress markedly increased transectin gene expression in cranial sutures of mouse calvariae, ASBMR, 1999.9.30-10.4, St.Louis, J.Bone Miner.Res.,14(suppl):194,1999.
- 5) 高木正道, 井上 誠, 山田好秋: 安静時と咀嚼時における上喉頭神経刺激の効果, 第76回日本生理学会, 1999.3.28-29, 長崎, p.148
- 6) 龍島弘之, 鈴木啓之, 綾野理加, 平川 崇, 松田恵里子, 鈴木崇之, 向井美恵, 野田忠: 超音波断層法による吸嚙時舌波状運動の定量解析, 第37回日本小児歯科学会大会, 1999.5.22-23, 大阪, 小児歯誌, 37:313,1999.
- 7) Watanabe Celso Tadao, 渡邊淳一, 田口 洋, 野田忠: 下顎永久前歯の萌出障害, 第37回日本小児歯科学

- 会大会, 1999.5.22-23, 大阪, 小児歯誌, 37:339,1999.
- 8) 市嶋里絵, 渡邊淳一, 田口 洋: 永久犬歯萌出障害の特異症例について, 第37回日本小児歯科学会大会, 1999.5.22-23, 大阪, 小児歯誌, 37:340,1999.
- 9) 田口 洋, 小林博昭, 野田 忠: 永久犬歯萌出障害の処置内容と予後について, 第37回日本小児歯科学会大会, 1999.5.22-23, 大阪, 小児歯誌, 37:341,1999.
- 10) 三富智恵, 富沢美恵子, 野田 忠: 下顎第一大臼歯萌出遅延20例の臨床的検討, 第37回日本小児歯科学会大会, 1999.5.22-23, 大阪, 小児歯誌, 37:342,1999.
- 11) 角田俊彦, 渡邊淳一, 石倉優香, 田口 洋: 発症程度の異なる下顎Odontodysplasiaの2症例, 第37回日本小児歯科学会大会, 1999.5.22-23, 大阪, 小児歯誌, 37:343,1999.
- 12) 田邊義浩, 神成直子, 田口 洋, 野田 忠: 乳歯列反対咬合児と正常咬合児の側貌の形態学的比較 - Cranial base angleを基準とした分析 -, 第37回日本小児歯科学会大会, 1999.5.22-23, 大阪, 小児歯誌, 37:434,1999.
- 13) 富沢美恵子, 大島邦子: 新潟大学歯学部附属病院小児歯科における血友病患児の歯科治療, 第4回新潟血友病フォーラム, 1999.7.2, 新潟.
- 14) 下村淳子, 石橋 宰, 池亀美華, 川島博行: 張力刺激によりマウス頭頂骨縫合部に誘導される遺伝子群の解析, 第17回日本骨代謝学会, 1999.7.29-31, 大阪, 日骨代謝誌, 17:29,1999.
- 15) 神戸正人, 神成直子, 田口 洋, 朔 敬: 下顎永久前歯部に再発した過剰歯の1例, 第17回日本小児歯科学会北日本地方会大会, 1999.9.18, 八戸.
- 16) 市嶋里絵, 田口 洋, 野田 忠: 外傷による永久歯脱落の予後調査, 第38回新潟県小児保健研究会, 1999.9.24, 新潟.
- 17) 佐藤拓一, 松山順子, 高橋信博: PCR-RFLPによるActinomyces naeslundii genospecies2とAviscosusの迅速固定法, 第41回歯科基礎医学会, 1999.9.24-25, 東京, 歯基礎誌,41:484,1999.
- 18) 林 幸子, 大島邦子, 野田 忠, 前田健康: 歯根膜ルフィニ神経終末に伴う終末シュワン細胞の発達, 第41回歯科基礎医学会, 1999.9.24-25, 東京, 歯基礎誌,41:437, 1999.
- 19) 清水亜矢, 大島勇人, 大島邦子, 野田 忠, 前田健康: ラット臼歯再植後の歯髄再生過程における免疫担当細胞の役割, 第41回歯科基礎医学会, 1999.9.24-25, 東京, 歯基礎誌,41:447,1999.
- 20) 中村順一, 高木正道, 宮岡洋三, 花田晃治, 山田好秋: 慢性的舌突出が摂食行動に及ぼす影響, 第41回歯科基礎医学会, 1999.9.24-25, 東京, 歯基礎誌,41:498,1999.

【その他】

- 1) 野田 忠: 食べるの科学, 平成11年度教養総合科目『食べる - そのメカニズム - 』, 1999.4.16
- 2) 富沢美恵子: 食べるための口腔の健康, 平成11年度教養総合科目『食べる - そのメカニズム - 』, 1999.4.23
- 3) 野田 忠: おっぱいを飲む, 平成11年度教養総合科目『食べる - そのメカニズム - 』, 1999.4.30
- 4) 田口 洋: 咀嚼の発達, 平成11年度教養総合科目『食べる - そのメカニズム - 』, 1999.5.7
- 5) 野田 忠, 富沢美恵子, 田口 洋: 食べる, あれこれ, 平成11年度教養総合科目『食べる - そのメカニズム - 』, 1999.6.4
- 6) 田口 洋: 学童期にみられる歯の萌出障害, 平成11年度新潟大学歯学部同窓会第3回定期セミナー -, 1999.7.17. 新潟.
- 7) 田口 洋: 小臼歯・大臼歯の萌出障害, あすなる小児歯科勉強会, 1999.8.10, 富山.
- 8) 野田 忠: 外傷で歯が抜けてしまったら, 平成11年度新潟大学歯学部公開講座, 1999.10.26
- 9) 野田 忠: 歯の萌出障害, 臨床研修セミナー, 1999.10.29

歯科放射線学講座

【論文】

- 1) Hayashi, T., Ito, J., Kato, T., Hinoki, A., Taira, S., Saku, T.: Intracortical hemangioma of the mandible. Dentomaxillofacial Radiology 28:127-129, 1999
- 2) Hayashi, T., Ito, J., Koyama, J., Hinoki, A., Kobayashi, F., Torikai, Y., Hiruma, Y.: Detectability of anterior displacement of the articular disk in the temporo-mandibular joint on helical computed tomography. The value of open mouth position. Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol Endod 88: 106-111, 1999
- 3) Kobayashi, F., Sasaki, O., Nakajima, S., Ito, J.: Measurement of layer thickness using spread width of longitudinal image in helical CT. Oral Radiol 15: 85-93, 1999
- 4) Okamoto, K., Ito, J., Sakai, K.: Cicatricial fibromatosis mimics metastatic medulloblastoma. AJNR 472-473, 1999
- 5) Okamoto, K., Ito, J., Ogawa, R., Furusawa, T., Sakai, K., Tokiguchi, S., Takagi, M.: Bilateral optic neuritis in a child diagnosed with Gd-enhanced MR imaging using fat-suppression technique. Eur Radiol 9: 731-733, 1999
- 6) Okamoto, K., Ito, J., Emura, I., Kawasaki, T., Furusawa, T., Sakai, K., Tokiguchi, S.: Focal orbital